

使い捨てコンタクトレンズ 空ケースの回収

米沢市は、令和4年7月22日に「米沢市プラスチックごみゼロ宣言」を行い、循環型社会形成に向け、プラスチックごみゼロを目指し、市民・事業者・行政が一体となって取組を進めることとしております。

令和4年10月14日、米沢市は、山形県公立大学法人山形県立米沢栄養大学及び米沢女子短期大学、H O Y A (株)アイケアカンパニーと「使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に係る三者協定」を締結しました。

学生が主体となって活動し、市内各所に回収箱を設置・回収しています。米連連としても、各支部に協力を呼び掛けるなどして、活動を後押ししてまいります。

◆回収箱設置場所

- ・市役所1階正面玄関脇
- ・置賜総合文化センター
- ・各小中学校
- ・各コミュニティセンター
- ・図書館（ナセBA）



※設置場所により回収箱の大きさが異なります。

指導者研修会

令和4年12月15日に置賜総合文化センターで指導者研修会を開催し、12支部26名が参加、意見交換を行いました。



議題の一つに、組織や体制の見直しがあれば、とりわけ婦人協力班長の今後のあり方について意見が交わされました。支部員の減少もあり、支部活動に一本化している支部も多い中、南部や窪田など婦人協力班長が中心となって、女性が企画した内容ならではのイベントが毎年開催される支部の紹介もありました。

このほか、役員の高齢化や担い手の確保、コロナ禍における各支部の活動状況、分別ルール違反ごみへの対応策など、様々な報告が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

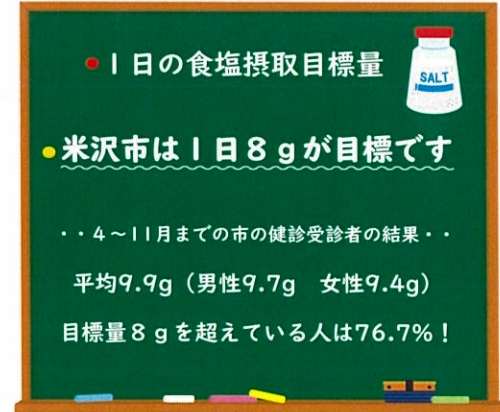


適塩生活で血管を元気にしよう！

食塩は体の大事な栄養素でも摂り過ぎると病気ののもとに

食塩は、体内の水分量を調整するなど、体の機能を維持するために大切なものです。しかし、摂りすぎると高血圧となり、血管がダメージを受けて動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳血管疾患を起してしまう危険があります。また、糖尿病や腎臓病の人が塩分を摂りすぎると、腎不全になる恐れもあります。

米沢市では、令和4年度から特定健診とはつらつ基本健診に、尿検査による推定一日食塩摂取量測定を追加しています。受診した人は必ず結果を確認し、生活習慣を振り返ってみましょう。また、適塩について学べる教室も開催します。詳しくは、4月に配布する健診ガイドブックをご覧ください。



適塩のポイント

めん類の汁は残す
ラーメン、そば、うどんなどの汁を飲み干すと約5gの食塩摂取になります。汁を残すと約2gの減塩になります。

みそ汁や漬物、つくだ煮、塩辛などの食べる量を減らす

みそ汁1杯には、約2gの食塩が含まれています。汁物は1日1回にする、漬物などは1日おきに食べると減塩できます。

調味料に含まれる塩分量を知る

食塩の供給源として一番多いのが調味料類です。使い過ぎには注意しましょう。その中でもソースやケチャップなどは食塩含有量が比較的小さいので、これらも上手に使いましょう。

酸味、香辛料、香味野菜を使う

酢は、無塩調味料ですのでぜひ活用しましょう。からし、わさび、しそ、ねぎ、みょうが、胡麻、くるみなどは、辛味や香り、歯ごたえで薄味でも美味しく食べられます。



南部支部の活動報告

支部長 小林 秀一

南部地区は46の町内で構成され各衛生組合長を中心にごみ収集所の管理や川掃除・花の植栽等、町内ごとに特徴のある美化運動活動をしております。

当支部（男性5人・女性5人の役員）では、新型コロナウイルスが収束しない中、感染予防に留意しつつ、今年度6つの活動を行いました。

1、婦人協力班長研修会

婦人協力班長を対象に、ごみに対して意識を持ってもらうために、市環境生活課の職員を講師に迎え、ごみの排出量や分別方法についての講演がありました。女性の参加が少ない昨今、多くの人が集まり好評を得ました。

2、健康教室

支部と南部コミセン共催による各衛生組合長と婦人協力班長を対象とし、市健康課の保健師を講師に迎え、軽い運動を取り入れた「理想の休養を取るために」の講演があり、健康の大切さを学びました。

3、支部役員研修

上山にある「山形県環境事務組合工ネルギー回収施設・川口」のごみ処理場を訪問し、ごみ量の多さ・多種多様な搬入物について、最新の機械と技術で安全に処理している当施設を見学し、改めて分別の大切さを痛感しました。

4、中部支部との情報交換
隣接支部の活動について、積極的に情報・意見の交換を行い、今後の支部



活動や衛生事業を行ううえで参考になる有意義な交換会でした。次年度も他の支部との情報交換会の要請があれば、積極的に関わりを持って行きます。

5、ごみ収集所の維持管理状況調査
南部支部役員10名が5班に分かれて46町内187カ所のごみ収集所を可燃ごみ収集日に適正な出し方と収集所の設置状況と設置数の調査を実施しました。収集日を守らない件数は年々少なくなってきたものの、名前の記入は全体の2割程度でした。

6、役員会の開催

4月は総会の準備のため3回、その他は月1回定期的に集まり、情報交換を行い意思の疎通を行いました。

他の団体が、新型コロナウイルス禍で活動の縮小・中止を余儀なくされている中、当支部は、通年と変わりなく数多く活動ができました。

フードドライブ

本来食べられるにも関わらず廃棄されてしまう食品を回収し、食品ロスを減らすフードドライブが、市の事業として使用済小型電子機器回収とあわせて実施され、本連合会も協力しました。

専用のコンテナが使用済小型電子機器回収ボックスの脇に設置され、合計193kgの食品が集まりました。



米衛連だより

発行 令和5年3月1日
米沢市衛生組合連合会

「山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業交付金」を活用し、
森林保全や自然環境教育に資する活動を通じて環境美化や支部間交流を行いました。

1 吾妻山清掃登山・植樹

令和4年7月15日、清掃登山は雨天により中止となったものの、11人の参加のもと、白布の憩いの森にてソメイヨシノの植樹を行いました。



2 視察研修（飯豊町）

令和4年9月14日、飯豊町の源流の森、飯豊町木質バイオマス製造施設（地元の木材からおが粉・ペレットを生産する施設）、ながめやまバイオガス発電所（家畜のふんからのメタンガスで発電供給する施設）の視察研修を行いました。自然環境や森の大切さ、再生可能エネルギーについて理解を深めました。



3 スポーツごみ拾いイベント「スポGOMIクエスト」

令和4年11月23日、松川地区内でのスポーツごみ拾いイベントを予定していましたが、荒天のため屋内イベントに内容を変更し、ごみや自然環境などに関するクイズを解きながら米沢女子短期大学の校内を巡るウォークラリーを実施しました。また、地元産の木材を活用した木工クラフトの製作を行いました。当日は市内の親子15組、計47人が参加し、地域の美化活動などに取り組む米沢女子短期大学の学生サークル「ECO RING」と、市内を走りながらごみ拾いを行っている団体「パトラン山形」のご協力を得て、楽しみながら市内のごみや自然環境についての理解を深めることができました。



グループで協力クイズに挑戦



木工クラフトの製作



台座は地元産の槐（えんじゅ）や杉の木を使用



イベント運営の一翼を担った「ECO RING」のみなさん

市民の皆様には、日頃より公衆衛生全般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市では資源循環の推進のためにごみの分別を奨励しています。今年度は分別が不十分なため、未回収のごみが散見され、各衛生組合の皆様におかれましては、適切にご対応されたことに感謝を申し上げます。

また、近年は不法投棄も増加しており環境や地域衛生への影響なども心配されます。その対策の一環として企画されたスポーツごみ拾いは、荒天のため実施が出来ませんでした。ご協力いただいた米沢女子短期大学の学生、そしてパトラン山形の皆様にも感謝いたします。

パトラン山形では、夜間ランニングをしながら防犯の声かけやごみ拾いを通して「きれいで明るい米沢」を実践されています。各衛生組合でもスポーツごみ拾いなどを取り入れ、楽しめるごみ拾いを考えてみてはいかがでしょうか。

最後に、未だ終息しない新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵襲に伴う物価高騰など私達の生活環境は未だ厳しいものとなっていますが、一日も早く平穏な日々に戻るようご祈念申し上げます。今後も環境・保健及び公衆衛生にご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。



米沢市衛生組合連合会
会長 渡部 一雄

米衛連だより発行によせて

発行年月日 令和5年3月1日

発行 米沢市衛生組合連合会

事務局 米沢市金池五丁目一番二十五号

米沢市役所市民環境部環境生活課内 0238・22・5111（内線3303）

お問合せの多いごみ3選

1. PPバンド（梱包用のテープ）⇒ 可燃性ごみ



出し方：指定可燃ごみ袋に入れて出してください。
長いものは50cm以下に切ってください。

2. スプレー缶、カセットボンベ ⇒ 資源物



出し方：スプレー缶（整髪料・シェービングクリーム・毛染め等の泡スプレー缶、殺虫剤、塗料など）、カセットボンベは、穴をあけて、中身が見える透明な袋に入れて出してください。

3. ライター ⇒ 有害ごみ



出し方：ガスを使い切り、ペンチ等で上部を外してから中身が見える透明な袋に入れて出してください。ライター、乾電池、充電式電池など、品目ごとに別々の袋に入れてください。

米衛連だより編集委員

会長	渡部 一雄（窪田）
副会長	岡村 康郎（南原）
〃	遠藤 新悟（松川）
〃	岡崎 正（南原）
監事	小林 秀一（南部）
〃	綿貫 雄雄（中部）
〃	高橋 利和（西部）



受彰者のご紹介

受彰者の皆様、誠におめでとうございます。

岡 伊 尾 齊 木 並
崎 藤 形 藤 村 木
和 賢 麗 り 子 木
正 美 一 子 子 子
（敬称略）
（南原）（窪田）（松川）（南部）（東部）

米沢市衛生組合連合会
会長表彰（個人6名）

米衛連の事業

米衛連では、生活環境の整備と市民衛生思想の高揚を図るため次のような事業に取り組んでいます。

1 指導者の育成と組織の強化

- (1) 研修会を開催し地区指導者の育成を推進
- (2) 各種大会、研修会への参加
- (3) 各支部へ組織育成のための助成
- (4) 広報紙による啓蒙活動

2 支部活動への助成

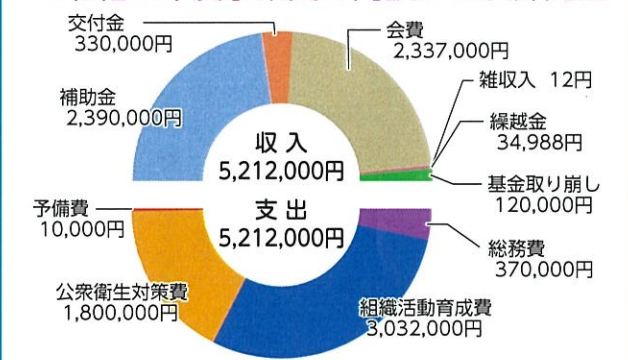
研修会、環境美化運動、健康教室及び環境保全等の支部活動推進のための助成

3 実践活動

- (1) 環境衛生に関すること
 - ① ペット（犬、猫）の排泄物の適正処理及び飼い主のモラル向上のための指導
 - ② ごみ収集所の適正管理
 - ③ 不法投棄防止の啓発
 - ④ 地区の美化活動の実施
 - ⑤ 地球温暖化防止活動の実践・啓発
 - ⑥ ごみの減量及び再資源化への協力
 - ⑦ きれいな川で住みよいふるさと運動への参加

- (2) 保健衛生に関すること
各種健診の受診啓発

<令和4年度事業費の内訳> ※決算見込



※納入いただいた会費はこのように活用されています。